## プレゼンテーションドキュメント学習のための スライド間の関係性の可視化

後藤 充裕\*, 柏原 昭博\*

## **Visualizing Connections between Presentation Slides for Learning Presentation Documents**

Mitsuhiro Goto\*, Akihiro Каsнінака\*

In learning a presentation document, learners generally need to select a number of slides from the document, which describe what they want to learn or should learn. However, it is not so easy to find out the slides to be learnt since the connections between the adjacent slides are not explicitly expressed. They accordingly take more time to learn and finish learning with incomplete knowledge. In order to address this issue, this paper introduces a map called slidemap for visualizing the logical connections between slides. This map helps learners identify the sequence of slides to be learnt from a presentation document and comprehend the structure embedded in the document in a shorter time. This paper also reports a case study involving 16 participants with the tool. The results of the study show slidemap could be more beneficial for learning a presentation document than using PowerPoint user interface.

キーワード:プレゼンテーションドキュメント、ドキュメント学習、スライドマップ、可視化

## 1. はじめに

近年、SlideShare (1) に代表されるプレゼンテーションドキュメント(以下、P-ドキュメント)共有サービスの登場によって、さまざまな分野のP-ドキュメントが簡単に入手可能になった。それに伴い、P-ドキュメントは学習用のコンテンツとしても活用され始めている。P-ドキュメントでは聴衆に伝えようとする情報が端的かつ的確に表現されることが多く、学ぶべき要点が分かりやすくなっているというのが、その理由として挙げられる。また、ICTに明るい大学生にとっては、教科書よりもP-ドキュメントは有効な学習コンテンツであるとの報告もある (2) 実際、SlideShareには最新の研究内容や社会問題に対する国・企業の取

り組み事例など、体系化が不十分でも先進的な分野に 関する P-ドキュメントがアップロードされている <sup>(3)</sup>. これらドキュメントは教科書や書籍では出版されてい ないような事柄を学ぶコンテンツとして利用できる.

こういった P-ドキュメントを対象とする学びでは、ドキュメントに含まれるすべてのスライドを網羅的に学ぶのではなく、学習者が学びたい内容を含むスライドだけを学ぶことができる点が特徴的である。例えば、研究室に配属された学生が「システムの評価手法」を学ぶために、先行研究の P-ドキュメントから「過去に用いられた評価手法」が記載されたスライドだけを学んだり、企業の社員が自社の取り組みの P-ドキュメントから「自社での過去の取り組みの課題」に関するスライドの内容だけを注力して学ぶケースなどがある。

受付日: 2021年11月15日; 再受付日: 2022年3月2日; 採録日: 2022年4月22日

<sup>\*</sup>電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻(Graduate School of Informatics and Engineering, The University of Electro-Communications)